

社会福祉法人足柄緑の会

平成30年度事業報告

目 次

1	社会福祉法人足柄緑の会	1～4
2	法人利用者状況等	5～12
3	コスモス学園中沼ジョブセンター	13～18
4	コスモス学園中沼ジョブセンター 生産事業部	19～20
5	コスモス学園中沼ケアセンター	21～23
6	居宅介護事業所それいゆ	24～25
7	コスモス学園松田センター	26～30
8	相談支援事業所あすなろ	31～32
9	コスモスホーム	33～35

1. 社会福祉法人 足柄緑の会

1. 概況

社会福祉法人制度改革2年目となった平成30年度は、組織体制、キャリアパスの再整備を行い、更なるガバナンスの強化を図った。事業運営の透明性の向上を図るとともに情報発信を強化するため、ホームページのリニューアルにも着手した。また、規程の見直し、職員教育、人材確保の取組の拡充・強化を継続的かつ重点的に実施した。

利用者送迎の安全確保のため送迎車両の入替、利用者工賃の向上を図るため就労支援事業の成形設備整備を計画的に進めた。

2. 課題への取組

(1) 職員の教育・育成

利用者への「支援力」向上のため、キャリアパスを見直した新しい人事考課制度の定着を図った。全体職員研修の前期は、「座間キャラバン隊」を招いて見え方、聞こえ方、話し方等、障害者の立場になった場面設定を体感し理解を深めた。後期は、利用者接遇、法人内事業所の取組の内容で実施。DVDを用いたグループワーク、法人内各事業所見学、説明会を実施。日々の支援の振り返りを再度確認した。

また、キャリアパス対応研修、権利擁護、強度行動障害支援者養成研修、新任職員研修等、様々な研修に参加し支援力向上に努めた。

(2) サービスの質の向上

今年度も昨年度に続き新たな取組は最小限にとどめ、日中活動支援サービスの更なる質の向上に力を注いだ。

- ① 就労移行支援・就労継続支援B型部門では、利用者の「自立」と「社会参加」が生産活動を通して貢献できるような目標工賃を設定し、個々の利用者に適した作業種目の拡大を図った。

プラスチック成形事業は、新たな成形機を増設して、売上の増大に結びつけた。KESは引き続き定着化を図り、ISO9001はプラスチック成形を中心に改善活動を継続した。また、カフェ・デ・ソルでは、南足柄・開成地区を対象とする弁当配達事業を開始した。

引き続き、施設外就労、職場見学実習に取り組み、4名の利用者が一般就労に結び付いた。

- ② 生活介護部門では、引き続き個々の利用者に適した日中制作活動を継続・拡大するとともに、ストレッチ等の運動プログラムを導入、アニマルセラピー・伝統芸能・余暇活動等の活動を継続した。

地域行事は積極的に参加しており、地域の方々との接点も年々増え、生活環境の地盤は着実に構築されている。

コスモス学園松田センターでは、カーテンレールを設置し、医療的ケア対象者が安全かつ安心できるよう環境整備を実施した。また看護師の配置体制を強化した。

- ③ 共同生活援助部門（グループホーム）では、引き続き自立に向けて日常生活能力の維持・向上、健康管理・金銭管理・相談等の支援に力を入れ、期中を通じて空室ゼロ化を達成した。

土・日・祝日の余暇活動は、職員配置増で対応したが、安定した取組、実施が成されず今後の大きな課題である。

- ④ 居宅介護（ヘルパー）部門では、利用者の意向を尊重し、適切なサービスを提供した。在宅介護サービスの拡大に注力したが、ヘルパー体制強化が図れず、依頼があってもサービス提供できないこともあった。スポットヘルパー体制強化が今後の課題である。

- ⑤ 相談支援部門では、相談支援に必要な知識習得のため積極的に研修、会議、自立支援協議会等に参加した。また、相談支援従事者現任研修も受講した。そのため、行政機関、福祉事業所、医療機関、相談支援事業所との連携強化が進み、地域における社会資源の活用が以前よりも向上した。

相談支援従事者初任者研修に1名参加し、相談支援専門員増員ができた。

（３） 法人の社会的責任遂行・地域における公益的な取組

リスクマネジメント委員会による「虐待防止チェックリスト」で虐待防止・人権擁護に取り組み成果を上げた。IACレポート、ひやり・はっとアンケートを活用して事故防止に努め、利用者・職員とも大きな事故なく過ごすことができた。

地域の清掃活動・自治会活動への参加を継続し、地域との連携を図った。

地域における公益的な取組としては、カフェ・デ・ソルで、年間11回の「ほっとカフェ」（認知症カフェ）の開催、南足柄市社会福祉協議会ボランティア講習会の開催に協力した。

（４） 法人の法令遵守と財務安定化

理事・監事・評議員・幹部職員を対象とした「ハラスメント対策」セミナーを開催し、ハラスメントによる法人のリスク・損失や、ハラスメントを生まない職場づくりなどの勉強を行った。

昨年度より行っている、重要事項を業務会議の合議で決定する組織・運営体制を引き続き継続した。

平成30年度報酬改定により、就労移行支援・就労継続支援B型の給付費収益が減少し、最低賃金上昇により人件費が増加したが、経費節減等に努めた結果、収益は黒字を確保できた。

3. 理事会・評議員会実施報告

(1) 理事会

平成30年度第1回理事会 平成30年5月15日(火)

- 第1号議案 人事異動(案)
- 第2号議案 職務権限規程の変更

平成30年度第2回理事会 平成30年5月28日(月)

- 第1号議案 平成29年度事業報告
- 第2号議案 平成29年度決算
- 第3号議案 平成30年度第1回補正予算(案)
- 第4号議案 定時評議員会の招集
- 第5号議案 定款施行細則の変更
- 第6号議案 理事の辞任に伴う選任候補者の推薦

平成30年度第3回理事会 平成30年9月18日(火)

- 第1号議案 給与規程の変更
- 第2号議案 コスモス学園中沼ジョブセンター就労移行支援 運営規程の変更
- 第3号議案 コスモスホーム短期入所(空床利用型) 運営規程の変更
- 第4号議案 コスモスホーム共同生活援助(介護サービス包括型) 運営規程の変更
- 第5号議案 職員等ユニフォームに関する規程の新設
- 第6号議案 人事異動

平成30年度第4回理事会 平成31年1月29日(火)

- 第1号議案 福祉サービスに関する苦情解決規程の変更
- 第2号議案 第三者委員の変更
- 第3号議案 運営規程の変更
- 第4号議案 平成30年度第2次補正予算(案)
- 第5号議案 給与規程の変更
- 第6号議案 キャリアパスの変更
- 第7号議案 人事異動

平成30年度第5回理事会 平成31年3月25日(月)

- 第1号議案 平成30年度第3次補正予算(案)
- 第2号議案 平成31年度事業計画(案)
- 第3号議案 平成31年度予算(案)
- 第4号議案 コスモス学園中沼ジョブセンター防水・塗装工事

第 5 号議案 設備資金借入

(2) 評議員会

定時評議員会 平成 30 年 6 月 20 日 (水)

第 1 号議案 平成 29 年度決算

第 2 号議案 理事・監事の選任

2. 平成30年度法人利用者状況等

(1) 事業所別利用者数

平成31年3月31日付

関係機関		南足柄市			小田原市			秦野市			山北町			開成町			大井町			松田町			箱根町			横須賀市			平塚市			中井町			湯河原町			計				
事業所	障害程度区分	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計					
中沼J C 就労移行	1			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0					
	2			0		0		0		0		0		0		0		0	1	1		0		0		0		0		0		0		0	1	0	1					
	3			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		1	1		0		0	0	1	1				
	4			0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	0	1					
	区分なし			0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	0	1					
	計	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	1	4	
中沼J C 就労継続	1			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0			
	2	3	1	4	2	2	1	1	2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	6	2	8		
	3	2	2	4	3	3	1	1	1	1	1		0		0		0		0	1	1		0		0		0		0		0	1	1	9	2	11						
	4	4	3	7	1	1		1	1		0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	6	4	10		
	5	1		1	1	2	3		0	1	1		0		0		0		0		0		0		1	1		1	1		0		0		0	3	4	7				
	6			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0			
	区分なし	4	2	6	3	3	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	8	2	10			
計	14	8	22	10	2	12	3	2	5	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	32	14	46		
日中一時 中沼J C	1	1		1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	0	1			
	2		1		2	1																															2	2	4			
	3			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0			
	計	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	5	
中沼C C	3	1		1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	0	1			
	4	3	2	5		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	3	2	5			
	5	1	3	4	2	2	4	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	4	5	9		
	6	4	4	8	1	7	8		0	1	1	2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	1	7	12	19					
	計	9	9	18	3	9	12	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	15	19	34
松田C 就労継続	1			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0			
	2			0	1	1	1	1		0		0		0	2	1	3		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	4	1	5		
	3			0	1	1	2	2	2		0	1	1	1	1	2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	5	2	7			
	4			0	2	2	4	3	3		0		1	1	3	3		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	8	3	11			
	区分なし			0		0		0		0		0	2	2	2	2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	4	0	4	
	計	0	0	0	4	3	7	6	0	6	0	0	0	3	1	4	8	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	6	27
日中一時 松田C	2			0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	0	1			
	3			0	1	1	2	2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	3	0	3			
	4			0				0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0			
	5			0		0		0		0		0		0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	1	1			
	計	0	0	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	5
松田C 生活介護	3			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0			
	4			0	2	1	3		0	1	1		0	1	1	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	4	2	6		
	5	1		1	2	2	2	2	4		0		0		0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	6	2	8		
	6	2	1	3	2	2	4	2		2	1	1	1	1		0		1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0	8	4	12		
	計	3	1	4	6	3	9	4	2	6	2	0	2	1	0	1	1	0	1	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	8	26
	コスモスホーム	1	2		2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	2	0	2		
2		2		2		1	1	1	1		0		0	1	1	2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	3	3	6			
3		1	1	2	2	2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	3	1	4			
4		2		2		0		0		0		1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		1	1		0		0	2	2	4			
5		1	1	2		1	1	1	1	2		0		0		0		0		0		0		0		1	1		0		0		0		0		0	2	4	6		
6		1	2	3		2	2	1		1	1	1	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	4	4	8			
計		9	4	13	2	4	6	2	2	4	1	0	1	1	1	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	16	14	30	
	合計	36	23	58	31	22	50	18	6	24	6	1	7	6	2	8	10	4	14	2	2	4	1	0	1	0	2	2	0	1	1	0	2	2	2	2	0	2	112	65	177	
参考	29年度合計	39	24	62	28	21	46	18	6	24	6	1	7	6	2	8	11	4	15	2	2	4	1	0	1	0	2	2	0	1	1	0	2	2	2	2	0	2	113	65	178	

(2) 利用者年齢構成状況

平成31年3月31日付

年 齢	18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢
就中 労沼 移J 行C	男	3								3	22.0
	女	1								1	21.0
	計	0	4	0	0	0	0	0	0	4	21.8
就中 労沼 続J 続C	男	9	5	6	7	4				31	34.2
	女	3	2	4	2	1	1			13	35.8
	計	0	12	7	10	9	5	1	0	44	34.3
日中 沼一 時J 時C	男		1	1	1	1				4	39.7
	女			2						2	35.5
	計	0	0	1	3	1	1	0	0	6	38.0
中沼 C	男		1	4	4	5				14	35.0
	女		3	4	6	4	1	1	1	20	37.0
	計	0	4	8	10	9	1	0	1	34	36.0
就中 労松 続田 続C	男		6	5	6	2	1		1	21	33.8
	女		1		3		1			6	40.5
	計	0	7	5	9	2	2	1	0	27	37.2
日中 松一 時田 時C	男		1	2		1				4	30.5
	女				1					1	36.0
	計	0	1	2	1	1	0	0	0	5	33.3
生活 介松 護田 C	男		9	4	2	3				18	27.9
	女		3	3	2					8	27.0
	計	0	12	7	4	3	0	0	0	26	27.5
										全平均	32.6
										男性平均	31.9
										女性平均	33.3

年 齢	18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢
ホ ー ム ス	男	1	3	4	4	3	1			16	40.6
	女	1	3	6	1	1	1		1	14	38.1
	計	0	2	6	10	5	2	0	1	30	39.4

(3) 医療状況

内科検診

月／日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
5/28	46			46
5/31		33		33
8/29			43	43
10/1		32		32
10/4	48			48
1/30			47	47
計	94	65	90	249

利用者健康診断(IA)

月／日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
3/12			53	53
3/18	41	31		72
計	41	31	53	125

歯科検診

月／日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
5/21			49	49
6/25	41	31		72
計	41	31	49	121

インフルエンザ予防接種(任意)

月／日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
11/12	37	28		65
11/14			40	40
計	37	28	40	105

(4) コスモス会(自治会)活動状況

項 目	実 施	場 所
自治会役員定例会議	11回/年	中 沼 ジョブ センター 会議 室 松 田 セ ン タ ー 食 堂
全 体 会	12回/年	中 沼 ジョブ・ケアセンター 作業 室 松 田 セ ン タ ー 作 業 室
献 立 会 議	4回/年	中 沼 ケア センター 食 堂 松 田 セ ン タ ー 食 堂
行事準備(買出し等)	2回/年	
学 園 行 事 担 当	納 涼 大 会 (ジュ ー ス) 学 園 祭 (抽 選 会 ・ 各 店 舗 補 助)	中 沼 ケア センター 中 庭

(5) 行事実施状況

実 施 日	行 事 名	場 所
H30.6.9	県 西 地 区 み ん な の つ ど い	小 田 原 ア リ ー ナ
H30.6.22	レクリエーション(中沼ジョブセンター)	箱 根 海 賊 船 ・ 恩 賜 箱 根 公 園
	レクリエーション(中沼ケアセンター)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー
	レクリエーション(松田センター)	コ ロ ナ キャ ッ ト ボ ウ ル 小 田 原
H30.7.14	第 21 回 納 涼 大 会	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 中 庭
H30.9.14	コ ス モ ス 学 園 運 動 会	南 足 柄 市 体 育 館
H30.10.6	コスモスホームパーベキュー大会	コ ス モ ス ホ ー ム 駐 車 場
H30.10.13	第 21 回 コ ス モ ス 学 園 祭	中沼ジョブセンター・中沼ケアセンター
H30.11.16	生活介護(中沼ケアセンター)バス旅行	河 口 湖 猿 ま わ し 劇 場
	生活介護(松田センター)バス旅行	富 士 サ フ ァ リ パ ー ク
H30.11.22	就労(中沼ジョブセンター)バス旅行	東 京 デ ィ ズ ニ ー ラ ン ド
	就労(松田センター)バス旅行	八 景 島 シ ー パ ラ ダ イ ス
H30.12.1	コ ス モ ス ホ ー ム 忘 年 会	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階 作 業 室
H30.12.8	第 36 回 県 西 地 区 障 害 者 文 化 事 業	小 田 原 市 川 東 タ ウ ン セ ン タ ー マ ロ ニ エ
H30.12.14	クリスマス会(中沼ジョブセンター)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 2 階
	クリスマス会(中沼ケアセンター)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階
	クリスマス会(松田センター)	松 田 セ ン タ ー
H31.1.5	成人式(中沼ジョブセンター)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階
	成人式(松田センター)	松 田 セ ン タ ー
H31.3.17	第 15 回 ワクワク・のりのりコンサート	小 田 原 市 け や き ホ ー ル

(6) ボランティア状況

納涼													学園祭													受入人数													275 名
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																										
中沼JC			1	13	1	1	13	1	1	1	1	1	34																										
中沼CC	4	5	4	4	4	3	4	3	4	4	4	4	47																										
松田C	1	3	7	2	1	4	1	1	3	1	2	0	26																										
コスモスホーム													0																										
イベント				68		13	87						168																										
計	5	8	12	87	6	21	105	5	8	6	7	5	275																										

(7) 防火・防災 訓練実施状況

実施日	訓練内容	事業所	参加総数	
			315名	
9/20	大雨土砂災害警報による避難訓練	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	75	
9/22	避難訓練 (水害想定)	松田センター	41	
11/17	総合防災訓練	コスモスホーム	14	
12/22	総合防災訓練	松田センター	46	
3/25	地震避難訓練	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	70	
3/28	総合防災訓練	松田センター	53	
3/29	総合避難訓練	コスモスホーム	16	
		合計	315	

(8) 研修・実習等受入状況

受入総数 30 名

実施日	研修・実習名	人数
H30.6.11～15	小田原養護学校3年生校外実習(中沼ジョブセンター)	1
H30.6.25～27	小田原養護学校3年生実習(松田センター)	1
H30.6.25～29	小田原養護学校3年生校外実習(中沼ジョブセンター)	1
H30.7.2	小田原養護学校3年生実習(松田センター)	1
H30.7.2～6	小田原養護学校3年生校外実習(中沼ジョブセンター)	1
H30.7.2～6	小田原養護学校3年生実習(松田センター)	1
H30.8.1～2	松田町社会福祉協議会主催 夏休み体験実習(松田センター)	3
H30.8.3～17	鎌倉女子大学・短期大学保育実習(中沼ジョブセンター、中沼ケアセンター)	2
H30.8.3～17	鎌倉女子大学保育実習(松田センター)	2
H30.8.17	小田原養護学校3年生実習(松田センター)	1
H30.8.20	小田原養護学校2年生夏休み体験実習(中沼ケアセンター)	1
H30.8.21	小田原養護学校2年生夏休み体験実習(中沼ケアセンター)	1
H30.8.27	松田町社会福祉協議会主催 夏休み体験実習(松田センター)	2
H30.10.30～31	南足柄市立足柄台中学校職場体験実習(中沼ジョブセンター)	2
H30.11.21	小田原養護学校3年生現場(校外)実習(中沼ケアセンター)	1
H30.11.26～28	小田原養護学校3年生実習(松田センター)	1
H30.12.3～7	小田原養護学校3年生実習(松田センター)	1
H30.12.10～11	小田原養護学校3年生実習(松田センター)	1
H31.2.5	小田原養護学校3年生現場(校外)1日体験実習(中沼ケアセンター)	1
H31.2.7	小田原養護学校2年生体験実習(松田センター)	2
H31.2.12	小田原養護学校2年生体験実習(松田センター)	1
H31.2.15	小田原養護学校3年生現場(校外)1日体験実習(中沼ケアセンター)	1
H31.3.20	小田原養護学校2年生体験実習(中沼ジョブセンター)	1
	合計	30

(9) 平成30年度職員配置状況

	所長	部長	サービス管理責任者	サービス提供責任者	支援員	相談支援専門員	ヘルパー	世話人	生産事業部	看護師	栄養士	事務員	合 計
中沼 JC (生産事業部)	1		1		14				8				24
中沼 CC	1		1		21					1			24
それいゆ	兼務		兼務	1			8						9
松田C	1		1		21					8		兼務	31
あすなろ	兼務					1							1
コスモスホーム	1		兼務		3			26		1			31
総 務 部		1										3	4
合 計	4	1	3	1	59	1	8	26	8	10	0	3	124

平成29年度職員配置状況 <比較資料>

	所長	部長	サービス管理責任者	サービス提供責任者	支援員	相談支援専門員	ヘルパー	世話人	生産事業部	看護師	栄養士	事務員	合 計
中沼 JC (生産事業部)	1		1		13				7				22
中沼 CC	1		1		21					1	兼務		24
それいゆ	兼務			1			6						7
松田C	1		1		18					7	兼務	兼務	27
あすなろ	兼務					1							1
コスモスホーム	1		兼務		3			20		1			25
総 務 部		2									1	3	6
合 計	4	2	3	1	55	1	6	20	7	9	1	3	112

(10) 平成30年度採用・退職状況

事業所	採 用	退 職
中沼 JC	3	
(生産事業部)	2	1
中沼 CC	1	3
松 田 C	5	5
コスモスホーム	6	
あすなろ		
それいゆ		
総 務 部		1
合 計	17	10

平成29年度採用・退職状況 <比較資料>

事業所	採 用	退 職
中沼 JC	2	1
中沼 CC	1	1
松田C	7	3
コスモスホーム	4	1
あすなろ		
それいゆ		
生産事業部	2	
総 務 部		
合 計	16	6

(11) 平成30年度 職員研修出席状況

日 時	研 修 会 名	人 数
4/20	社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー	1名
5/30	給食施設における災害対策	1名
6/21	神奈川県指定障害福祉サービス事業者指導講習会	3名
7/2	平成30年度ストレスマネジメント研修	1名
7/12～13	第49回関東地区知的障害福祉関係職員研究大会	1名
7/18	第4回障害者グループホーム職員研修	10名
7/25～26	平成30年度第2回神奈川県強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	1名
7/28	自閉症療育者トレーニングセミナー	2名
8/22～23	神奈川県社協人材研修センター平成30年度中堅職員キャリアパス対応研修	1名
8/24	平成30年度KWネット合同研修会	2名
8/24	平成30年度経営協セミナー(前期)	1名
8/28～31	訪問型職場適応援助者養成研修	1名
8/29	神奈川県民間知的障害施設協同会第1回事務研修部会	2名
9/7	神奈川県受託事業平成30年度障害者GHサポートセンター 第6回障害者グループホーム職員研修	10名
9/7、11、14	平成30年度職場適応援助者養成研修(実技研修)	1名
9/21	地域生活拠点事業研修	1名
10/2～3	平成30年度神奈川県サービス管理責任者等研修(就労分野)	1名
10/4	神奈川県民間知的障害施設協同会第2回事務研修部会	1名
10/10	福祉新聞フォーラム「福祉法人の経営と管理」	1名
10/10	神奈川県社協平成30年度障害福祉施設協議会新任職員研修(1日目)	1名
10/11～12	平成30年度神奈川県サービス管理責任者等研修(地域分野)	1名
10/17	特定非営利活動あうん 平成30年度第2回イズム@JCT	1名

(11)平成30年度 職員研修出席状況

日 時	研 修 会 名	人 数
10/17	神奈川県相談支援従事者現任研修(1日目)	1名
11/7	神奈川県社協平成30年度障害福祉施設協議会新任職員研修(2日目)	1名
11/14～16	第56回全国知的障害福祉関係職員研究大会	1名
11/15	神奈川県相談支援従事者現任研修(2日目)	1名
11/30	神奈川県民間知的障害施設協同会第3回事務研修部会	1名
11/19、21	平成30年度神奈川県障害者虐待防止・権利擁護研修 (障害者虐待防止マネージャーコース)	1名
12/11	神奈川県相談支援従事者現任研修(3日目)	1名
1/16	神奈川県相談支援従事者現任研修(4日目)	1名
2/4	平成30年度経営協セミナー(後期)	1名
2/14	神奈川県民間知的障害施設協同会第4回事務研修部会	1名
2/14	職場適応援助者養成研修修了者のためのサポート研修	1名
2/20	平成30年度医療看護研究会第3回講演会	1名
6月～12月	平成30年度神奈川県相談支援従事者初任者研修、プレ研修 ・6/11、12 ・7/18、19 ・9/6、7 ・11/7 ・12/19、20	1名
6/4	第1回 職員研修 座間キャラバン隊講演「障害のある子ってどんな気持ち？」	59名
	知的障害者、発達障害者の特性を模擬体験することで、当事者の	
	立場でその心理を想像し、接し方や関わり方を知る	
11/20	役員等研修会 ハラスメント対策セミナー(理事、監事、評議員、幹部職員参加)	18名
1/19	第2回 職員研修 午前:接遇に関するDVD鑑賞とグループごとのディスカッション	54名
	午後:各事業所の施設見学(事業所の活動説明など)	

3. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 就労移行支援

2. 利用者在籍状況 定員 6 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	57
女	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	20
計	6	6	6	6	7	7	7	7	6	6	6	7	77
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
入所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 平成 29 年度 74.3%、931 名

(2) 平成 30 年度 99.8%、1,524 名

4. 就労活動

(1) ビジネスマナー

挨拶、返事、身だしなみ、生活リズム、服薬管理、公共交通機関の利用法、携帯電話の使用マナー等重要性を伝えている。

(2) 実習支援

11 社の企業で、職場実習を行った。

(3) 求職活動支援

① 月に 1 回ハローワーク求人情報を検索し、情報収集に努めた。

② ハローワーク登録を 4 名行った。

③ 就労支援センターぽけっと、神奈川障害者職業センターと共同で就労支援を行った。

④ 就労支援センターぽけっとに 2 名の方が登録した。

(4) フォローアップ支援

4 名の方が就労したため、ジョブコーチ支援の申請も行いながらフォローアップを行った。

5. 就労移行実績

平成 30 年度 4 名の方が一般就労に結びついている。

就労先

① コスモス学園中沼ジョブセンター生産事業部 検品検査作業

- ② A 社 老人ホーム居室・共用部の清掃
- ③ B 社 研修施設の清掃
- ④ C 社 パレット積み重ね作業

コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 34 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	30	30	31	31	30	30	30	30	30	30	30	29	433
女	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
計	43	43	44	44	43	43	43	43	43	43	43	42	589
退所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
入所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

3. 平均利用率平均利用率・累計利用人数

(1) 平成 29 年度 115.4%、10,005 名

(2) 平成 30 年度 111.0%、9,503 名

4. 工賃実績

(1) 平均工賃月額 13,521 円

(2) 平均工賃時給 192 円

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
対象	39	39	40	40	40	40	40	40	40	40	40	39	481
総額	468,700	482,600	427,580	471,520	484,470	418,690	548,890	493,610	447,820	487,010	1,268,580	478,880	6,490,090
日数	702	741	720	760	760	680	800	720	640	680	680	697	233
時間	2,874	2,948	2,648	2,912	3,068	2,556	3,124	2,800	2,504	2,780	2,732	2,899	16,839

5. 日中活動

(1) 奉仕活動

12 月に、南足柄市姉妹都市交流協会主催で中部公民館にてチューリップの植栽作業に参加した。

(2) 廃品回収

① 段ボール、古新聞の回収を行い、毎週火曜日に松田センターに届けた。

② 各家庭から持ち寄ったアルミ缶は随時、中沼ケアセンターに届けた。

(3) 健康管理

① 個々の利用者健康診断結果をもとに、血圧、体重、サチュレーションの測定

を導入した。

血圧測定者：6名、体重測定者：1名、サチュレーション測定者：2名

② 発作を記録し、通院時の情報提供を行った。

③ 朝の作業開始前にはラジオ体操を、各作業室ごとに行い、健康の維持に努めた。

(4) フリープログラム

① 5月より太極拳講師を迎え、太極拳プログラムをスタートしている。1回／月60分を行っている。15名程度参加している。

② 希望者に対してセラピー犬と触れ合う時間を設けた。

(5) 地域交流

① 10月16日～11月10日まで、クレイジーパンプキン絵画展をカフェ・デ・ソルにて開催した。

② 8月小田原養護学校納涼のつどいにて、出張カフェを行った。

③ 12月県西地区文化事業にて、出張カフェを行い、弁当販売を行った。

(6) 地域における公益的な取組

① 毎月1回第4木曜日（8月を除く）にカフェ・デ・ソルにて、ほっとカフェ（認知症カフェ）を開催した。

② カフェ・デ・ソルを貸し切り、南足柄市社協ボランティア講習会を開催した。

6. 就労活動

(1) プラスチック製品の検査・計量・箱詰め・伝票作成・束ね

高齢、重度利用者でも取り組める作業としてライン作業を継続し取り組んだ。計量、箱詰め、伝票作成では因数ミスや伝票入力ミスは1件もなく、不具合0で1年を終えている。

(2) 清掃活動

主力メンバーに加え、新たに4名の利用者がチャレンジしている。作業工程が多いため定着までに時間を要する傾向がみられる。

(3) 施設外就労

① りんどう会館清掃を引き続き月・水・金の週3回継続している。利用客との接点もあり、挨拶など社会性が養われている。

② D社の育樹作業を今年度も継続した。月に2回の作業となり、外に出て体を動かす作業がリフレッシュにもつながっている。

(4) 飲食店

① 4月にカフェ改善会議を開き、弁当事業をスタートした。チラシ配りを週1回月曜日に行い、顧客数もコンスタントに増えている。主の取引先：南足柄市役所、

開成町役場、南足柄市保健センター等

- ② 午前中の利用者作業として新たに弁当作りが加わり、作業種目も充実してきている。

(5) その他

- ① E社との取引が本格化し、作業単価の高い作業が充実してきている。短納期に対応していくことへの対策を強化していきたい。
- ② 近隣施設とのネットワーク強化に努め、大量受注への対応が可能となった。
- F作業所、G事業所、シルバー人材センター等との共同受注ネットワークが確立できた。

7. 余暇活動

(1) レクリエーション

6月22日(金)、箱根周遊レクリエーションを行った。午前は、芦ノ湖海賊船で、箱根町港から桃源台港まで周遊し、昼食は恩賜箱根公園で弁当をみんなで食べた。

(2) バス旅行

11月22日(金)、バス研修旅行として東京ディズニーランドに行った。事前に、運営会社オリエンタルランドの歴史、スタッフの仕事について講習を行い、実際の接客場面を観察しながら楽しんだ。

(3) クリスマス会

12月14日(土)、午前は利用者、職員の出し物で、カラオケやゲームを楽しんだ。午後はグループごとにクリスマスケーキを作成しオリジナルのデコレーションを楽しんだ。

(4) クラブ活動

音楽クラブ、クラフトクラブ、卓球クラブ、ドライブクラブ、映画クラブに分かれて月1回土曜日の午後を余暇で楽しんだ。

8. 職員研修

中堅職員キャリアパス研修、医療看護研修、新任研修の外部研修に参加している。次年度はもう少し外部研修の参加増を計画していく。

9. 地域活動

開 催 日	行 事 名	場 所
毎月第4木曜日	ほっとカフェ	カフェ・デ・ソル
6月	南足柄市環境フェア	南足柄市役所
7月	納涼大会	中沼ケアセンター中庭

8 月	納涼のつどい	小田原養護学校
10 月	学園祭	中沼ケアセンター中庭
12 月	県西地区文化事業 チューリップ植栽	川東タウンセンターマロニエ 中部公民館

10. 支援他

- (1) 個別支援計画面談 10月、3月に実施した。
- (2) ジョブセンター会議 毎月1回開催した。
- (3) 工賃会議 9月、3月に実施した。
- (4) 利用者健診
 - ・健康診断を1回／年、実施した。
 - ・内科健診を2回／年、実施した。
 - ・歯科検診を1回／年、実施した。
 - ・インフルエンザ予防接種を11月に実施した。

4. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 生産事業部 就労支援事業

2. 目標達成手段・具体的方策

(1) 平成29年度比103%の売上を目指す

通年で前年度比117%の売上を達成することができた。

① 営業力の強化・新規顧客開拓

今期は工場のレイアウト変更、H社の新規受注品対応等で積極的な営業活動が行えなかったが、既存顧客からの新規受注が比較的好調であった。

② 成形機稼働の効率化による生産能力向上

無人検査機器の導入により、一部製品について成形機の24時間稼働が実現でき生産性が向上した。

③ プラスチック成形品の製造組立ての受注・シームレスな営業活動

(ア) たまご型容器は顧客より商品力向上の要望があり、当法人の有する知見・技術を活用することで協力することができた。

(イ) I社より、たまご殻を混練した新規開発樹脂の試作依頼があり協力した。

④ 製品見積の精度向上、作業工程の見直しにて利益率向上

見積計算は、過去の見積実績と実際の生産状況をデータ化することにより、精度の高い見積を顧客に提出することで交渉力の強化を図ることができた。

(2) 組織体制の強化を図る

① 経営・生産技術・品質管理体制のレベルアップ

(ア) プラスチック分科会を定期的に実施し、主に経営方針について打ち合わせを行った。

(イ) 技術顧問による技術指導は、今期は1名の職員を対象に成形の理論を主に実施した。

② プラスチック成形付帯作業の効率化

(ア) 主にJ社の新規受注品を対象に、成形品の2次加工を自動化させることで、大幅に作業を効率化させると共に品質を安定させることができた。

(イ) 人手が必要な作業（外観検査・梱包）を就労系事業所に提供した。

③ 生産活動のデータ管理

(ア) 現在稼働中のデータベースソフトを現状の生産状況に合致させるべく新規開発を行っている。（令和元年8月頃稼働開始予定）

④ 職員教育

(ア) 1月に生産事業部所属の職員を対象に、品質研修を実施した。

(イ) 1月に新入職員を対象にISO9001初任者研修を実施した。

(3) 適切な設備投資・修繕

① 設備投資計画

(ア) 4月～6月にかけて、H社からの新規受注に対応する為に成形工場の天井工事と既存成形機の移動を含めたレイアウト変更を実施した。

(イ) 6月にH社から成形設備一式が移管(買取り)された。

② 修繕が必要な設備

(ア) 今期は生産計画に大きな影響を及ぼす設備の故障はなかった。

(イ) 老朽化が進んでいる設備は随時、内部部品のリニューアルを施した。これにより生産性を向上させることができた。

(4) 品質管理体制の強化

H社からの新規受注に合わせて検査機器の充実を図った。一部の機器については既存製品にも適用することができた。

(5) 資格・免許の取得

① 射出成形技能士養成講習修了(1名)

② フォークリフト運転技能講習修了(2名)

5. コスモス学園中沼ケアセンター

1. 事業内容 生活介護

2. 利用者在籍状況 定員 27 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	15	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	169
女	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
計	35	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	409
退所		1											1
入所													

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 平成29年度 114.6%、7,884名

(2) 平成30年度 112.4%、7,653名

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
6月20日～23日	環境フェア	南足柄市役所
12月2日	健康フェスタ	保健医療福祉センター
12月8日	県西地区障害者文化事業	川東マロニエ
3月25日～29日	ちいきふくし博	南足柄市役所

5. 日中活動

(1) スヌーズレン

ゆっくり過ごしたいというニーズを持っている利用者は、スヌーズレンに好んで参加している。光・音・匂い等環境設定への配慮は継続していき、ニーズに沿ったプログラムの提供をしていく。

(2) 運動

運動用のDVDを2種類用意したことで、リズムに合わせて体を動かす利用者が増えた。また、運動後に体を動かすゲームを取り入れたことで、楽しんで体を動かす場面が増えている。

(3) 音楽ゲーム・カラオケ

月に数回、全体でのカラオケを行った。その際、参加者が多いこともあり盛り上がっている。また、週に1回行っているカラオケでは参加者が少ないため、多く歌えて満足度が高い様子である。

(4) DVD鑑賞

月に数回行っている。その都度リクエストをとって見たいDVDを流すようにしている。利用者は集中して鑑賞している。DVDの種類はあまり増えていないので少しずつ増やしていく。

(5) 外出活動

全体的に外出活動を好む利用者は多いためニーズはある。公園に行き、そこで散歩をすることで運動する機会にもなっている。行ける場所を増やし、利用者に行きたい場所を選択してもらえようとするのが今後の課題となる。

(6) 音楽療法

月2回行っており、楽器演奏をしたり、歌を歌ったりと活動的な日課となっている。ボランティアの先生が新しいアイディアをよく出してくれるので、利用者も飽きずに新しいことに取り組めている。

(7) 足湯

足湯をしながら足のマッサージをすることでリラックスを促す。冬場は足先が冷えている利用者もいるので、温めることで血行が良くなっている。

(8) アニマルセラピー

セラピー犬が来るのを楽しみにしている利用者が多く、触れ合っている時の表情も良い。中沼ジョブセンター、松田センターからも利用者が参加しているので、交流の場にもなっている。

(9) 伝統芸能

茶道では、先生のお茶を点てる姿がどこからも見えるように環境設定を変更し、職員も座って取り組むようにしたことで静かな雰囲気の中でお茶を楽しめるようになった。華道では、花器作りの飾りつけを楽しんでおり、いろいろな種類の花の中から好きな花を選ぶようになってきた。

(10) 地域交流

買物外出でよく使うコンビニは、学園のことを認知してくれているので、そういった店舗を増やしていくのが今後の課題となる。また、地域行事に出店することで地域の認知度を上げていく必要がある。

(11) 全般

余暇活動において、よりニーズに沿った形になるよう、次年度はリラクゼーションという日課を入れる予定であり、その中でもアロマのボランティアを検討している。喀痰吸引の技術向上については未実施に終わっている。

6. 就労活動

(1) 製作活動・新作業取入れ

季節ごとに新しい製作を実施した。また、その中で利用者によって物を作

りたいのか希望を聞きながら行った。作業については、製品の商品化を推し進めることはできなかったが、日々の作業において手先訓練を取り入れ、種類を増やすことで利用者の好みに合った作業を見出しやすくなった。

(2) リサイクル作業

クリーナー外しについては、K社で扱っている数が減っているということで学園でも取り組む量が減少している。アルミ缶については、回収にご協力いただいているご家庭が1軒増え、回収量についても増加している。

7. 余暇活動

(1) バス旅行

11月16日(金)、河口湖猿まわし劇場に行った。利用者はとても楽しんでおり、猿まわしでは歓声をあげて様子を見ていた。参加人数が少なくなったため一人当たりのバス旅行代が上がってしまったので、次年度については貸し切りバスの利用について検討する。

(2) クラブ活動

月1回の中沼ケアセンターと中沼ジョブセンターの合同での日課だが、年間通して月を追っていくごとに関係性がスムーズにいくようになっていた。中沼ケアセンターの場合はクラブ参加の希望が分散しにくいいため、希望のクラブに入れないということがあがあるのが改善点である。

8. 職員研修

正職員については、年間で数回ずつ研修に出ている。個々での学習には良い機会となっているが、他の職員にそのことを伝えられてはいない。法人の全体研修について、職員からの反応は全体的に良い評価が得られており、今後も日々の支援に直結するような研修を行っていくと良いと感じた。

9. 事業所運営

権利擁護については、あおぞらプランが刷新されたこともあり、職員に周知し現場でもそれが活用できるようにしていく。また、避難訓練など何かあった際に迅速に対応できるよう訓練を重ねていく。

10. 支援他

個別対応が必要な利用者については特別なプログラムを検討することで、職員個々の能力の向上を目指し支援の質を上げられるようにする。また、平成30年度は外食や果物狩り等普段とは異なる外出ができなかったのが、今年度は行えるよう計画する。

6. 居宅介護事業所それいゆ

1. 事業内容 居宅介護・重度訪問介護

2. それいゆ利用時間・累計利用人数

- (1) 平成29年度 5,940.5時間、6,548名
- (2) 平成30年度 5,678.5時間、6,001名

3. 支援内容別利用時間

(1) 平成29年度

- ① 身体 5,491時間
- ② 家事 428時間
- ③ 移動 21.5時間

(2) 平成30年度

- ① 身体 5,296時間
- ② 家事 358時間
- ③ 移動 24.5時間

今年度総利用時間数は、昨年度より262時間の減であった。外部の利用率が減った事も要因と考える。

4. ヘルパー業務

(1) 日常生活支援

掃除、洗濯、調理での支援内容をヘルパー同士確認しながら支援にあたった。
次年度も利用者の特性をふまえた支援ができるよう取り組んでいく。

(2) 適切なサービス提供

状況に応じて相談支援事業所と連携を図り、居宅介護計画書、支給量の見直しを行い効率的にサービス提供できるようにした。情報交換を密に実行した結果と考える。今後は同行援護資格者が増えたので、スキルアップを兼ねて外部への利用ニーズにつなげていく。

(3) 人権擁護

法人内研修に参加。定例会を2か月に1回実施。個々の意見を聞きスキルアップにつなげていった。

利用者との関係性が構築されると丁寧な対応を欠く場面があるので、ミーティングで話し合い、日頃から気をつけて支援を行った。

(4) 地域連携

行政機関、相談支援事業所と情報交換を定期的に行い連携強化が図れた。

県西地区あんしんヘルパーネット会議数減少。次年度開催があれば積極的に参加し情報交換、情報共有できるようにしていく。

(5) 守秘義務の徹底

個人情報ヘルパー同士で共有することが多い。情報漏洩がないように徹底した。守秘義務については随時ミーティング等で話し合いをした。

5. 職員研修

年2回法人内職員研修に参加。知識の向上につなげることができた。OJTは定期的の実施。今後も個々のスキルアップのため、外部研修へ積極的に参加していく。

6. 事業所運営

スポット職員2名増えたが、現状の職員数では対応が困難であった。次年度以降の課題と考える。

在宅介護サービス拡大においては、契約終了の方が4名、新規利用の方が1名となり次年度も引き続き拡大に注力していく。

基本理念、基本指針はミーティング等でも周知徹底した。

7. コスモス学園松田センター

1. 事業内容 生活介護

2. 利用者在籍状況 定員18名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	19	217
女	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
計	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	27	313
退所													
入所												1	1

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 平成29年度 113.7%、5,238名

(2) 平成30年度 115.0%、5,236名

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
4月29日	延命寺ぼたんまつり	松田町延命寺
5月5日	第41回若葉まつり	寄自然休養村
8月25日	まつだ観光まつり	松田町酒匂川町民親水広場
11月10日	HoloHolo 朝市	上府中公園
11月25日	まつだ産業まつり	JR 松田駅北口広場
12月3日～12月7日	障がい者街角アートギャラリー	さがみ信用金庫松田支店
12月8日	県西地区障害者文化事業	川東マロニエ
3月3日	ふくしあったかフェスタ	松田町健康福祉センター
3月25日～3月29日	ちいきふくし博	南足柄市役所

5. 日中活動

(1) スヌーズレン

灯籠やお香、オルゴールサウンドを使用し、リラックスした環境を設定できている。
ニーズがある利用者は定期的に参加できていた。

(2) 運動

利用者個々の状況に合わせてプログラムを設定し、ストレッチや歩行、音楽を使った体操を楽しく継続して取り組めた。

(3) 音楽ゲーム・カラオケ

カラオケは毎日昼休みに行い、参加した利用者は踊ったり、曲を聞いたり楽しく参加できていた。打楽器をクラブ活動で製作して、音楽プログラムでリズムに合わせて演奏するなど、様々な利用者が楽しめた。

(4) DVD鑑賞

利用者に見たいDVDを選択してもらったが、ニーズがない内容だと部屋から出てしまい、少人数になってしまうことがあった。今後、検討が必要。ニーズがある内容時はみんなで楽しくDVD鑑賞できていた。

(5) 外出活動

ニーズが一番多いプログラムだった。季節に応じた場所に行き、様々な利用者が笑顔で参加することができた。月2回、地域の方と一緒に公共施設で太鼓を叩いたり、お話し会に参加して交流を深めることができた。

(6) 音楽療法

実施日をケアセンターと交互にすることで、たくさんの利用者が楽しく参加できていた。演奏を聴く時間、一緒に楽器を使って参加する時間を分けることで、利用者個々の音楽を楽しむ時間ができていた。

(7) 奉仕活動

月1～2回実施。松田センター周辺の公園やパークゴルフ場、川沿いで活動。地域の方から声をかけられることも多くなった。

(8) 足湯

11月～12月に実施している。マッサージをすることで利用者全体がリラックスして参加できていた。足元の血行促進にもつながった。

(9) 地域ボランティアとの交流

ダンベル体操(運動)、カラオケ、大正琴、クレッシェンド(演奏)の方々が定期的に来所。利用者のニーズに合わせたプログラム設定ができた。

(10) 他事業所との交流

合同プログラム(セラピー犬、生花、茶道)をケアセンターと月2～3回取り組んでいる。ニーズがある利用者が多く、様々な利用者が参加できた。職員間の情報交換もできた。

(11) 全般

喀痰吸引の技術向上は未実施。月1回の医療ケア会議は管理者、サービス管理責任者、看護師等が参加して実施できた。

まだ看護師が不足しているが、体制は整ってきている。

ニーズに沿ったプログラムがさらに取り組めるよう利用者、保護者と再度、確認する場面を増やしていく。

コスモス学園松田センター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 22 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
女	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
計	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324
退所													0
入所													0

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 平成 29 年度 112.9%、6,359 名

(2) 平成 30 年度 110.5%、6,151 名

4. 工賃実績

(1) 平均工賃月額 13,673 円

(2) 平均工賃時給 193 円

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
対象	27	26	27	26	27	27	26	26	26	27	27	27	319
総額	310,920	337,480	295,650	321,950	304,640	298,960	360,750	328,220	292,590	316,200	870,320	323,930	4,361,620
日数	524	545	531	548	520	488	554	517	470	478	485	495	6,155
時間	1,845	2,187	1,864	1,994	1,967	1,727	2,066	1,874	1,657	1,796	1,806	1,847	20,835

5. 就労活動

(1) リサイクル・検査

K 社との取引について、前半は受注量が安定し、利用者の作業種目選択の幅もあり、技術力の向上につながった。年度後半より大幅に受注量が減少し、複数の作業種目が終了となっている。売上も前年度より約 6% 減となった。新規受注に向けて営業活動が必要となった。

(2) プラスチック製品の検査・計量

① 売上は前年度比横ばい。

② 新規作業項目が追加され(カット、計量作業等)選択肢の幅が広がった。

③ 引き続き生産事業部と連携を取り、売上の向上につなげる。

(3) 重機部品の取付け

① L社売上は前年度比横ばい。

② 前年度より行っている作業が安定して入り、技術力の向上につながった。

③ 継続して新規作業の獲得に向けて営業活動をする。

(4) 清掃活動

生活介護棟、就労継続支援B型棟の清掃を行った。手順書作成したことで技術の向上が図れた。今後は利用者人数の増加、現在取り組んでいる2名の利用者の配置について検討し、更なる技術、マナーの向上を目指す。

(5) 施設外就労

① M社の仕分作業は前年度比横ばいとなった。継続して現地従業員と連携を取り、利用者のマナー向上、障害理解に取り組む。今後は携わる利用者の増加、技術、マナーの向上を目指す。

② N社のブルーベリー摘み取り作業、O社の草刈り作業も継続して実施。利用者の作業選択が広がった。今後も継続して行い、外部の方と接する上で必要なマナーの習得、技術・収入の向上、携わる利用者の増加を目指す。

(6) 自主生産品作成

受注作業の合間の時間で、縫製製品の作成をした。作成した製品は地域行事等で販売し、生活介護との連携、収入の確保につながった。

(7) その他

① P社のアルミ板曲げ作業は安定した受注を確保した。利用者の選択肢が広がり、収入の確保につながった。

② 今年度より新たにQ社のコア剤詰め作業を実施。多くの利用者が参加した。

③ 松田町より依頼された、自治会用回覧に関する資料の仕分け作業を行った。ニーズは高いとみているので、継続して行政と連携を取り、作業獲得を目指す。

6. 余暇活動

(1) レクリエーション(合同)

6月22日(金)、小田原コロナキャットポウルにて生活介護、就労継続支援B型合同でボウリング大会を実施した。

(2) バス旅行

① 生活介護

11月16日(金)、「富士サファリパーク」に行った。今までは中沼ケアセンターとの合同であったが、今回は単独での実施となった。現地では特性弁当を食べたり、動物に触れあったり充実した旅行となった。

② 就労継続支援 B 型

11月22日(木)、バス研修旅行として「八景島シーパラダイス」に行った。現地にて従業員より八景島シーパラダイスの概要等の説明を受ける。その後は、食事、水族館、アトラクションを楽しみ有意義な1日となった。

(3) クリスマス会(合同)

12月14日(金)、生活介護棟作業室にて実施した。午前は利用者の出し物、職員出し物を行う。昼食はクリスマスランチとオードブルを食べる。午後はボランティア団体「小田原マジックレインボー」の手品ショー、保護者&地域ボランティア&音楽療法によるコラボ演奏、生活介護利用者&音楽療法の出し物、ティータイム、プレゼントと盛り沢山の内容の1日となった。

(4) クラブ活動(合同)

ドライブクラブ、音楽クラブ、運動クラブ、映画クラブなどに分かれて月1回土曜日の午後に余暇で楽しんだ。

7. 職員研修

訪問型職場適応援助者養成研修、相談支援従事者初任者研修、強度行動障害支援者養成研修等に参加した。法人内職員研修については、年2回実施した。

8. 事業所運営

権利擁護については、継続してリスクマネジメント委員会が管轄する虐待防止チェックリストを活用して、日々の支援の中で自己評価を図り、今後の支援への活用となることで継続中である。また、あおぞらプランが刷新されたことにより、職員に周知して意識付けを図る。避難訓練については継続して水害を想定した訓練を実施して、防災に関する意識付けを図る。

9. 支援他

- (1) 個別支援計画面談 10月、3月に実施した。
- (2) 松田センター・あすなる合同会議 毎月1回開催した。
- (3) 工賃会議 9月、3月に実施した。
- (4) 利用者健診
 - ・健康診断を1回/年、実施した。
 - ・内科健診を2回/年、実施した。
 - ・歯科検診を1回/年、実施した。
 - ・インフルエンザ予防接種を11月に実施した。

8. 相談支援事業所あすなろ

1. 事業内容 特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

2. 市町村別登録者数

市 町 村	人 数	市 町 村	人 数
小田原市	28	山北町	7
南足柄市	44	箱根町	1
大井町	21 (2)	秦野市	17
開成町	8	藤沢市	2
中井町	1	横須賀市	1
松田町	34 (7)		
		合 計	164 (9)

※ () は障害児相談利用者数。

3. サービス利用計画の作成

(1) 相談者の個性や環境に適した利用計画を立てる。

相談者の取り巻く環境の変化に応じてサービスの追加、支給量の調整を図った。また、利用開始が円滑に進むよう事業所紹介、見学同行を実施した。

(2) 相談者の尊厳を守り、意思を尊重した利用計画を立てる。

権利擁護の観点に基づいて、本人の言葉や思いを汲み取った支援計画を作成した。必要に応じて意思確認をする場を設け、支援関係者と情報共有を図った。

(3) 相談者の強みに着目し、相談者の力が生かされるよう利用計画を立てる。

本人の興味や関心などから活動参加の意欲を引き出し、本来持っている能力を発揮できるよう、担当者会議の実施、事業所との連携を図った。

4. モニタリング

(1) 厚生労働省の定める期間ごとの他、必要に応じて行う。

平成30年度報酬改定後の対応、情報収集、運営等を検討して体制整備にあたっている。

(2) 本人、家庭、事業所等の連絡を継続的に行う。

通所事業所、訪問系サービス事業所等と連携を取り、相談者の状況確認をし、支援機関や家族、本人に継続的な働きかけを行った。

(3) 必要に応じて計画変更、サービス事業者、関係機関との連絡調整に努める。

本人、家族、支援提供事業所からの情報提供、サービス調整、会議設定を円滑に実施することができた。

5. 地域における社会資源の活用

(1) 行政機関、福祉事業所、医療機関、他の相談支援事業所等

地域での会議、研修会へ積極的に参加した。地域内での新たな事業所や活動団体の把握をすることができた。また、介護保険事業や社会福祉協議会、県福祉事業などの障害福祉と結びつきのある関連業種とのつながりを持つために会議や研修の参加依頼に応じた。

(2) 相談支援事業のネットワークに参加

足柄上地区、小田原地区の自立支援協議会に参加している。2市8町相談支援事業所連絡会にも参加している。

6. 職員研修

(1) 相談支援専門員資格関連研修

相談支援従事者初任者研修に参加し、相談支援専門員の増員ができた。また、相談支援従事者現任研修を受講し、相談支援の質の向上を図った。

(2) 法人内、地域研修

法人内研修の実施、地域研修への積極的な参加を行った。相談支援の質の向上、関係機関との連携強化を図ることができた。

7. 事業所運営

(1) 研修等を通じて計画作成におけるプロセス等の質の向上・充実に努める。

相談支援従事者現任研修をはじめ、地域で実施される研修に参加することで相談支援の質の充実・向上を図った。

(2) 法令の順守(理解)を徹底する。

平成30年度報酬改定について、請求事務担当者と研修に参加した。

(3) 日程調整、書類作成等のプロセスを見直しサービスの効率化を進める。

事業所内での定期的な会議を行い、進捗確認、日程調整を実施し、効率化が図れた。

(4) 経費削減を徹底する。

事業所外での面談時、行政提出書類をその場で作成する等の運用を実施した。今後も継続していく。

8. その他

(1) 松田センター・あすなろ合同会議

毎月1回合同会議を実施。

(2) あすなろ部署会議

毎月1回部署会議を実施。

9. コスモスホーム

1. 事業内容 共同生活援助（介護サービス包括型）

短期入所（空床利用型）

2. 利用者在籍状況 定員30名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ひだまり	124	128	135	138	140	123	144	127	132	122	109	121	1543
やまびこ	309	314	303	314	314	297	318	304	277	306	292	319	3667
こもれび	307	320	306	314	320	298	325	305	298	292	285	302	3672
合計	740	762	744	766	774	718	787	736	707	720	686	742	8882
退居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 平均利用率

(1) 平成29年度 82.0%

(2) 平成30年度 81.1%

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
6月17日	市・美化デー	中沼公民館
8月18日	中沼自治会夏祭り	中沼公民館
9月2日	市・中沼自主防災訓練	中沼公民館
11月11日	中沼自治会文化祭	中沼公民館
11月17日	日向公民館祭り	日向公民館
3月17日	ワクワクのりのりコンサート	小田原けやきホール

5. 支援内容

(1) 地域生活・地域移行の「受け皿」としての役割

利用者の状態に応じ、自主性を保ち、一人ひとりの「ふつうに暮らす」を支援できるよう行政、医療、専門機関、日中事業所等と連絡調整を行うとともにホーム会議、クルー会議また現場において職員への技術指導及び助言を行い、利用者の人格に十分に配慮しながら統一した支援を提供した。

(2) 日常生活能力の維持・向上

利用者の障害特性を踏まえ、能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよ

う「各自のできることを増やしていこう。」をモットーに実践してきた結果、やまびこ、こもれびはメンバー同士で協力し、できないところはカバーし合ったり、クルーに自分の言葉で依頼したりコミュニケーション能力も高まっている。ひだまりメンバーは昼薬、資料や段ボールを中沼ジョブセンター等に届ける係で、自分ができることによって役に立つ喜びを共有している。

服薬管理対象者15名（平成29年度17名）、塗布薬及び季節等の配薬を含めると21名/30名（平成29年度23名）であった。金銭管理対象者17名（平成29年度17名）については利用者預り金規程に則り不備のないよう実施した。生活相談においては日中事業所、ホーム内の人間関係について多く寄せられた。自分で解決できるようアドバイスしつつ、溜め込まずに話ができるようになったことを評価したい。その他、間食等管理対象者6名（平成29年度5名）の支援を行うことでメンタル面の安定と作業意欲向上につながっている。

（3） 本人の望むサービスの提供

本人の意向を尊重し、モニタリングの実施でニーズを引き出し支援計画の作成と見直しを行い心身の状況、その環境に応じて自立に向けた支援が提供できるよう取り組んだ。

（4） 日中支援

心身の不良等により予定した日中活動サービスを利用できなくなった利用者や就労先欠勤の利用者に対する昼食提供や様子観察、通院同行等、関係機関への連絡調整は、居宅介護事業所それいゆとの連携により充分な対応ができた。

（5） 通院同行

7名の定期通院同行57件と6名の緊急・臨時通院24件実施し、利用者の健康増進、維持に努めた。

（6） 地域活動

地域行事への参画と交流を深め、暮らしの場の充実を図る目的で自治会清掃等、積極的に参加し、日向、中沼自治会行事では日中事業所の協力を得て、作品展示や出店を続けている。

（7） 余暇活動

法人内外の行事に参加し、利用者間の親睦を深めることを目的に行ってきたが、更にアクティブな活動を期待し、月1～2回土曜に職員4名体制で対応したが安定した取組とは言い難く課題を残したといえる。

6. 職員研修

利用者サービスの質的向上を目的に平成30年度は下記の研修に参加した。

6月4日 職員研修・座間キャラバン隊講演他

6月15日 コスモスホーム職員研修・障がい者ケアホーム「ハーバー泉」他見学

7月18日 「グループホーム職員のストレスマネジメント」

9月7日 第6回障害者グループホーム職員研修「対人コミュニケーションの基本
～利用者と上手に関わる声かけのポイント」

1月19日 職員研修 ・午前「権利擁護・利用者さんとの接し方」グループワーク
・午後 各事業所の取組を知る

7. 事業所運営

利用者、職員の安全第一を図るため、玄関等施錠の徹底および事業所設備の維持管理に努めた。

衛生管理面では、やまびこにおいてインフルエンザ、ノロウイルスが発症したが1階管理人室（トイレ設置）を隔離の場にしたことで、他の利用者との遮断ができ、拡大を未然に防ぐことができた。引き続き各事業所等との連携を図り、虐待防止・人権擁護を意識した支援に努め健全なる経営のため、コスト削減の全体意識徹底を図り業務改善に取り組みたい。

8. 支援他

利用者の課題を共有し、本人、保護者の意向を汲み取り適切な支援を実施するため、ホーム会議12回、クルー会議12回、メンバー会議6回、ケース会議（全体）2回・個別ケース11回、個別支援計画作成と面談2回実施した。

入院及びご家庭の事情等により利用率は前年度より1%減となったが、空室ゼロ化は維持している。

9. 短期入所事業

地域で生活している障害者等を支援するため、常時の連絡体制の確保と緊急一時的な宿泊の場の提供など、関係機関と連絡調整を行い平成30年度は6件の契約（法人内1件・法人外5件）をいただいた。円滑に移行できるよう配慮するとともに継続して入居している他の利用者の支援に支障のないよう対応した。平成30年度利用総数は293名（平成29年度335名）の定期的な利用をいただいた。今後は、保護者の高齢化とともに緊急性を含めた利用が増えていくものと予想される。